

福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 10 月 31 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (10/31 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度	
1号機	淡水 注入中	炉心プール系：約 1.9 m ³ /h	31.3	105.9 kPa abs	A系： 1.38	vol %
		給水系：約 2.8 m ³ /h			B系： 1.39	vol %
2号機	淡水 注入中	炉心プール系：約 4.2 m ³ /h	43.9	5.34 kPa g	A系： 0.05*2	vol %
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.03	vol %
3号機	淡水 注入中	炉心プール系：約 4.6 m ³ /h	44.0	0.22 kPa g	A系： 0.19*2	vol %
		給水系：約 1.8 m ³ /h			B系： 0.17	vol %

*1 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

*2 電源停止作業に伴いデータ欠測のため、直近で計測できている 10/31 5:00 時点の数値を記載。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (10/31 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	22.0
2号機	循環冷却システム	停止中	23.5
3号機	循環冷却システム	運転中	19.2
4号機	循環冷却システム	運転中	27

* 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

【2号機】・10/30 15:30 所内電源停止に伴い、使用済燃料プール代替冷却系を停止。11/1まで停止予定であり、停止時の使用済燃料プール水温度は約 21.4℃で、プール水温度上昇率を約 0.22℃/h、停止中のプール水温上昇を約 11℃と評価しており、運転上の制限値 65℃に対して余裕があり、使用済燃料プール水温管理上問題はない。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機タービン建屋	→ 3号機タービン建屋	10/30 10:09 ~ 移送実施中
3号機	3号機タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	10/26 12:18 ~ 移送実施中

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (10/31 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

* フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

<5. その他>

- H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- H24/3/6 ～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
- H24/10/23～ 1号機サブプレッションチェンバ内への窒素ガス連続封入を開始。サブプレッションチェンバ内の水素濃度を推定2%程度まで低くするために、連続封入期間は1ヶ月程度を予定。

以 上